

学校だより



1月は、行く(去ぬる・往ぬる)。2月は、逃げる。

あっという間に1月が終わり、2月を迎えました。

2月3日は「節分」、4日は「立春」、15日は「備前平野に春を呼ぶ!」と言われる「西大寺裸祭り」と、春を待ち望む行事が各地で続きます。関西では、「(東大寺二月堂の)お水取りで春が来る」とも言われていますし、「暑さ寒さも彼岸まで」と、春を想う言葉もあります。寒さはもうしばらくの辛抱です。

春に咲く球根は、寒さの中、土の中で根を張っていきます。成長するためには、しっかり張った根が大事なのです。この寒い時期を心身を鍛える時期と考え、春に備えて学べる心と体にしていきましょう。



2月の生活目標 「学校のきまりを守る」

学校には、集団生活を営む上で、学習面でも生活面でも様々なきまりがあります。何のためにそのきまりがあるのかを適宜考えさせたり、あるきまりを週の目標に掲げて重点的に意識付けをさせたりしていますが、継続しなかつたり児童の意識に温度差があったりして十分に守れていないのが現状です。

学校教育として、今後もきまりが守れるよう指導していきますが、家庭教育の躰としてもぜひ指導や助言をお願いします。次の3点については繰り返し指導していますので、ご家庭でも声掛けをお願いします。

- 時刻を守る。(特に授業や活動の始まりのチャイムを守り、着席したり活動を始めたりする。)
- 私語はしない。(学習に関係ない発言・挙手なしでの発言・友達をからかう発言をしない。)
- 学習用具をそろえ、必要のない物を持ってこない。



【参観日】

1月22日(水)の参観日には、ご多用の中を多数の保護者の皆様に来校していただき感謝申し上げます。

2年生は、授業参観とは別に、カッターナイフを使用する図工の時間に危険防止のための支援をしてくださりありがとうございました。また、3年生は、昔のくらしの学習として七輪の体験を保護者の方と一緒にすることができ、子どもたちは大喜びでした。

授業参観に引き続き、6年生は鴨方中学校制服採寸、学校保健委員会、そして来年度の役員選出会にPTA幹事会と、関係の保護者の方には大変忙しい一日だったと思いますが、全て滞りなく終えることができました。ご協力本当にありがとうございました。

本年度最後の参観日は、2月21日(金)に予定していますのでよろしくお願いします。



【何の話? 難の話】

漢字にまつわるこんな記事を見付けました。思わず納得してしまったので紹介します。

「難(なん)」という漢字がありますが、使われ方を思い浮かべると、「困難」「苦難」「災難」のように嫌なイメージの言葉が多いです。だから「難」が無くなればいいと思うのですが、「難」が「無し」を漢字で書くと「無難」となります。難が無いというのは「無難な人生」、つまり「退屈な人生」「平坦な人生」になってしまいます。では、「難」が「有り」の場合はどうでしょう。「有難い」となります。つまり、難が有るということは有難いのです。「難」、つまり乗り越える壁があるというのは、辛いこと苦しいことではありますが、それは挑戦することがあるということなので「有難い」ことだと言えるのです。…(略)

「難」に直面したときに、なかなかプラス思考で挑める人は少ないですが、「難」に挑戦する過程での努力や工夫は、人生のプラスになることが多いと思います。子どもたちが学習面や技能面で「難」に直面したときに、投げ出したり諦めたりせず挑戦できるように学校では指導や支援をしています。ご家庭でもよろしくお願いします。振り返ったときに、「有難かった」と思えるように…。